

2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [見附市立葛巻小学校] 担当教諭名 [斎藤 美加子] (6年1・2組 62名)
 相手国・地域 [台湾]
 海外学校名 [Wen Ya Elementary School] 担当教諭名 [Ruth Hou]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	Save Our Future	35
	外国語	自己紹介 日本の紹介 自分たちの町・地域	6
	国語	町の幸福論 ―コミュニティデザインを考える―	8
	図工	アートマイルプロジェクト	4

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Let's Save the Earth ～できることから始めよう～
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	コロナ禍のいま、世界中の人たちが手をつなぎ、相手を思いやって生きていこう。 違う考え方や文化を理解し合い、大切にしていこう。
 	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> SDGsの学習を通して、世界が抱えている問題に関心をもつようになった。 離れていても思いは同じであることを実感でき、「できることから始めよう」とする気持ちが強くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めてだったので、見通しをもって学習を行えなかった。「協働」というより、やっていることの発表の場となった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 台湾に興味をもつようになった。 コロナを封じ込めているのに、自分たちよりもしっかり予防していることに感心していた。 日本語が通じないので、表情や身振り手振りで伝えようと意識をもった。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の違いがあるため、より分かりやすく活動を知ってもらおうと努めた。 海外の子どもたちと関わることを楽しさを味わった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	・自己紹介、新潟県や見附市紹介 ・台湾について調べた。	「まさか、外国の子どもと学習するなんて」という気持ちを持ち、張り切って外国語の学習に取り組んでいた。	総合5 外国語4
共有 テーマ学習	7月 ～ 9月	・SDGsの学習を進めた。(世界の現状調べ・SDGsすごろく・グローバルビンゴ など)	インターネットや本を使ってテーマをもって学習した。	総合10
融合 メッセージ作成	10月 11月	・Skype ミーティングを3回行い、各学校のことを知らせ、学習したことを発表し、アートマイルのテーマについて話し合った。 ・「幸せな未来の見附市発表会」を行った。	・自分たちがやっていること、やろうとしていることをどうしたら伝えられるかを考えたり、通訳ボランティアに質問したりしながら、何度も伝える練習をした。	総合10 国語8 外国語2
創造 壁画制作	12月	・代表児童が下絵を考え、構図を決めて下絵を描き、全員が少しずつ彩色した。 ・SDGsをテーマに卒業ミュージカル公演会を行うことを決め、脚本作りをした。	・どんな色にするのかなど細かい点まで話し合い、丁寧に作成していた。 ・誰ひとり取り残すことなくみんなが幸せになるために一人ひとりができることから始めることが大事であることを伝えることになった。	図工4
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	・ミュージカル「Let's Save the Earth～できることから始めよう～」を上演した。 ・「完成記念セレモニー」を開催(テレビ・新聞社の取材) ・卒業式に掲示保護者に披露。	・絵がきれいにつながっていることに感動し、じっくりと見ていた。本当に離れている仲間と創り上げたのだということを実感していた。	総合10

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	相手校からの手紙や写真・画像を見て、見た目は似ているが、服装や文字、学校生活での共通点や相違点を感じ取っていた。コロナ予防・災害への考え等で、感心することがあった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	相手校の取組を受けて、自分の考えを話すところまでは行かなかった。「協働」でなく、発表の場になっていた。
主体的に考え行動する力	4	自分の地域の良さを学習し、それを伝えるようと一生懸命に取り組む姿、「みんなが互いを思いやり、できることから始めよう」と訴える姿、そして自分でできることを行動している姿が見られた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	テーマが伝わるような構図を2パターン提示し、相手校の意見を聞いた。相手校から、どちらかに決めるのではなく、良い部分を両方取り入れることにして、最終的な構図に決めた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	離れている仲間と、一つの作品の中に共通なメッセージを込めて壁画を完成させられたことに感動している姿が見られた。